



# REINANZAKA SCOUT CLUB



2017年  
10月25日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403  
ホームページ <http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>

No.51  
創立70周年  
特集号

## 70周年おめでとう

## 発足時のスカウト 石田隆一



今年7月猛暑のある日、田中新二さんから久し振りに電話をもらった。「シンちゃん」はBS時代に出会

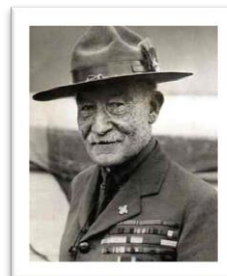
った古くからの友人だ。「リュウちゃん」と懐かしい声。「BS4隊70周年の記録として何か思い出を書くように」との事。めでたい事なんだけれど作文は生来得意から程遠い作業だ。スカウトクラブ会報26号に遠山兼宏（キンさん）君が文筆したのと同じ流れだよと言ったら、キンさんの次はお前さんだよ・・・と。あとは世間話をして終わらせた。

昭和10年11月（1935年）現在虎ノ門1丁目となった琴平町で生まれ、以来82年間そこで生活している。当時の西櫻国民学校に入学し東京での空襲が激しくなる前、学童疎開として親元を離れ栃木県塩原で小学3年生から6年生までの集団生活が始まりました。そして終戦の翌年、焼け野原となった東京に戻り、幸いにも戦火を逃れた西櫻小学校に復学出来ました。その時、担任の先生からボーイスカウト活動の説明があり、同級生8名がマーティン・ウィリアムス氏、今井襄二氏に初めてお目に掛かりました。ウィリアムスさんは鼻が高く縁なし眼鏡をかけ、いつも口元に笑みを絶やさない背の高い外人さんで、今井さんは英語と

日本語をチャンポンに話す日系二世の方です。

昭和22年（1947年）2月2日西桜組8名が霊南坂グループに合流してスカウト活動が始まりました。当時の服装は学生帽に白ワイシャツ、黒の半ズボン姿。シャツの左腕に5センチ角程の赤布に白ペンキで4と書き込んだワッペンを縫い付けたのがユニフォーム姿で戦闘帽をかぶったメンバーもいました。当時小学校の図画の授業では学校の屋上から見える青い屋根の大倉集古館と霊南坂教会のトンがったレンガ色の鐘楼を写生したもので、その鐘楼の曲がりくねった階段を昇った部屋がミーティング場となろうとは夢にも思いませんでした。心が浮き立つ反面、教会グループの中学生と一緒にする事に少なからず不安がありました。それは学童疎開先での上級生から受けた辛い思いがあったからでしょう。ところがスカウト仲間の先輩方は個性豊かで非常に楽しい明るい方達でした。温厚で穏やかな口調で話す小崎（ターちゃん）さん、格好よく何でも率先して行動する今田（フーちゃん）さん、歌づくりに優れた志水（イサオちゃん）さん、ウクレレを弾いて笑いを誘う飯田（イーダコ）さん、縄結び競技No1の荒垣（ガキ）さん。今日迄3名の先輩が他界し、西桜グループも菊田、川並、長沢の三君が故人となられ、

*When things look bad, just smile and sing to yourself, as the thrush sings: "Stick to it, stick to it". And you will come through all right.*



ベーデン・パウエル卿の言葉

困難に直面したとき、ほほえみを浮かべ、ツグミが歌うように『スティック・トゥ・イット、スティック・トゥ・イット（あくまで頑張り、あくまで頑張り）』と自分に言い聞かせよ。そうすれば何もかもうまくいく。



創立70周年を共に祝うことができなかつた淋しさがあります。

当初13名の仲間ですスタートしその後多くのスカウト達との交流が、馬齢を重ね八十二才の今日自分にとってどんなに有意義なものであったのか計り知れません。

最後に霊南坂スカウトの更なる発展を祈念して筆をおきます。

70周年おめでとう！

## 霊南坂スカウト誕生70周年をみんなで祝いました

70周年をお祝い出来ましたこと、感謝いたします。

スカウトクラブ会長 西郷崇子

2017年4月29日（土）。準備を始めて2年、後は当日のお天気を祈るのみ！と言って迎えた霊南坂スカウト70周年記念のお祝いの日！

天候にも恵まれ、沢山のご来賓、懐かしい面々のOB・OGを、そして元気な現役スカウトたちとご家族をお迎えして無事盛会裡に終わることが出来ました。本当に感謝です。ご支援くださった皆さまには心からお礼を申し上げます。

とはいえ不行き届きのことも多々あったことと思いますが、大いに反省して以後役立たせて行きたいところです。

70周年のテーマを「信じる心」として迎えましたが、一つの大きな区切りの時であると共に新たな歩み出しの時としたいです。

初団当時の様子を知る者も少なくなってきました。でもまた新しい時代の若い者たちによって、ボーイスカウト・ガールスカウト・スカウトクラブの三者が力合わせて受け継いでいって欲しいと願って止みません。めでたく70周年をお祝い出来ました感謝と、今後も変わらずのご支援をお願いしてご挨拶とさせていただきます。



## 70周年記念 礼拝・式典・祝会・パーティーを開催しました

記念行事実施日  
テーマ

2017年4月29日（土）  
「信じる心」

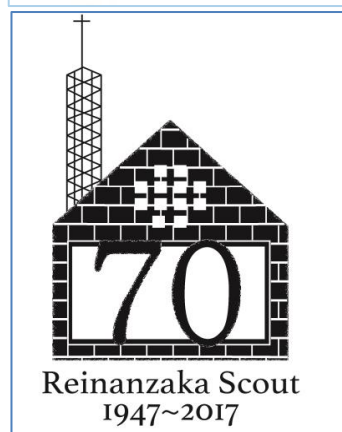
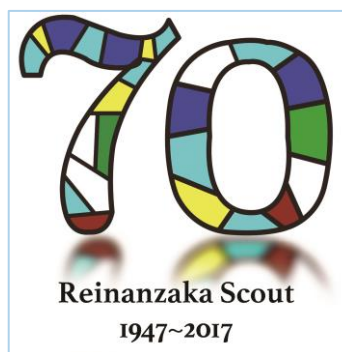
### 企画委員会の組織

- 企画委員長 清水 康輝 (BS)  
企画副委員長 鈴木 充代 (GS)  
書記 内藤 正樹 (BS)、向殿 裕子 (GS)  
会計 臼井 純一 (SC)、古谷 久代 (GS)  
小野 俊夫 (BS)  
委員 西郷 崇子 (SC)、倉持雅人 (SC)

### 実行委員会委員

- ① 式典・礼拝 BS 小崎(信) (会計)・五十嵐  
GS 備後(委員長)、箸本(書記)、  
小山(睦) (書記)、大塚  
② 記念品 BS 小野(委員長)、増山(書記)、増田  
GS 斎藤、枝迫(会計)  
③ 記念誌 BS 矢野、濱田、山菅、西石垣  
GS 小山(利)、余村  
④ 祝会 香川、向殿  
⑤ 年表「霊南坂スカウト70年のあゆみ」改定版  
BS 内藤、小崎、毛受  
GS 古谷  
SC 西郷、箸本

### 記念のロゴマーク



デザイン  
ガールスカウトリーダー 齋藤理子



記念礼拝

後宮牧師 オルガン：今井奈緒子



式典：テーマ「信じる心」 ディレクター：GS：鈴木光代 BS：小崎(信)













祝 会





## スカウトクラブ主催 70周年記念パーティー

霊南坂スカウト誕生70周年を祝うパーティーはスカウトクラブ主催で2017年4月29日(土) 教会での祝会終了後18時からカラヤン広場内の「ARK HILLS CAFÉ」(アークヒルズカフェ)に、OB、OG、現役リーダー、教会関係者、および来賓を迎え、倉持雅人・小田島典子の司会で開催しました。































上記、霊南坂スカウト70周年催事に関わる写真はインターネットでダウンロードすることができます。  
詳細は～eメール [usui4669@hotmail.co.jp](mailto:usui4669@hotmail.co.jp) : 電話 : 090-4749-0733 白井純一兄にお問い合わせください。



## 70周年記念催事 礼拝・式典・祝会・パーティーなどに出席したスカウトクラブ関係者名

\*敬称略 (出席されたにも関わらずお名前表記のない方にはお詫びいたします。)

朱村 宏 (朱)  
 足立 園恵 (八木)  
 安西 松江  
 飯田 誠子  
 池田 早苗 (清水)  
 石田 隆一  
 五十野和男  
 伊藤由紀子  
 今井 哲哉  
 今井奈緒子  
 上原 栄一  
 臼井 純一  
 海上 春之  
 浦野須磨子  
 大岩 久 (志水)  
 大石みち子  
 大内 真人  
 大胡 晋一  
 大槻 将嗣  
 大槻敬太郎  
 大室 洋子 (伊藤)  
 片岡 孝  
 金森 勝芳  
 金子 康子 (加藤)  
 川 洋子  
 川 正興  
 河合 潤子 (萬井)  
 菊池 千春  
 木村 恵子 (田中)  
 日下部英一  
 田侑 貴子 (壇上とも子)  
 倉持 雅人  
 黒部 愛子  
 小崎 美恵  
 小崎 公平  
 小崎 敬子  
 小田島典子  
 後藤田淳子  
 小林 孝江  
 小松正太郎

小宮 忠紀  
 西郷 崇子 (原)  
 坂井 宏  
 澤田 明秀  
 清水 康輝  
 清水 裕  
 杉田 憲彦  
 杉原 正  
 鈴木 孝典  
 鈴木 浩之  
 鈴木 充代 (古谷)  
 鈴木 隆一  
 鈴木 武夫 \*

諏訪原礼子 (斎藤)  
 高嶋ひろ子 (渡辺)  
 高玉 大  
 高橋 弘長  
 竹本 裕子  
 龍 茂久  
 田中 節子 (犬飼)  
 田中 新二  
 遠山 兼宏  
 戸田健次郎  
 戸部 卓治  
 友常 明子  
 内藤 正樹  
 内知 恵子 (針替)  
 中田 豊 (戸倉)  
 永橋 牧子 (黒部)  
 中村 秀美 (菅野)  
 中美 津枝 (佐藤)  
 長井 利美  
 永山 茂樹  
 西川 安子 (九鬼)  
 西谷 芳美 (渡辺)  
 針替 茂人  
 檜垣 君子 (鈴木)  
 古矢 紘一  
 古谷 久代 (岸田)  
 真木壮一郎

松下 俱子 (三木)  
 萬石 俊夫  
 南 ひろ子 (石川)  
 宮治美江子 (黒部)  
 向殿 裕子  
 村田 守昭  
 森田真知子 (栗原)  
 矢澤 宏子 (内山)  
 柳 健一  
 山崎 亜子 (伊藤)  
 山田 紀代 (堀越)  
 吉田 恵子 (大塚)  
 Lee直美枝 (太田)  
 脇村茉莉子  
 和田富士子 (鈴木)  
 渡辺 邦子 (間宮)  
 渡辺 博  
 渡邊 澄  
 青柳 晶子  
 青柳 美帆  
 五十嵐大祐  
 池田恵美子  
 池田 晃浩  
 池田 涼子  
 石井 豊子  
 石田 耕司  
 今井 伴子  
 岩垂 量子  
 宇田川幸子  
 梅澤 佳美  
 枝迫 七海  
 大石 邦子  
 小野 俊夫  
 小野由紀子  
 笠川 由佳  
 川 まど雅  
 河合 純  
 河合 和子  
 黒川美和子  
 小崎 信

小崎 安子  
 小峰 カノ  
 小山 和子  
 小山 睦美  
 小山利加子  
 斎藤 理子  
 佐藤 禮子 (長瀬)  
 澤井 義夫  
 渋谷 千枝子  
 白須 夏世 (杉本)  
 進藤 典子  
 杉本 陽介  
 須藤 紀子  
 瀬川 千露 (吉川)  
 高木里花子  
 高橋 美幸 (坂口)  
 谷本 祐子  
 津越 美希  
 寺本 朋子  
 寺本 眞由  
 中谷 純子  
 西木久美子 (新崎)  
 花山 庸子  
 濱田 礼子  
 平木 淳江  
 備後 千春 (本田)  
 福田 菜子 (斎藤)  
 藤井 朋子  
 古口 美幸  
 増山 孝子  
 増山 植雄  
 三好 弥生  
 毛受 實貴  
 茂木 千紗  
 山菅 裕之  
 山本 泉美  
 山本 幸佳  
 湯浅 健夫



Reinanzaka Scout  
 1947~2017



70周年記念、全部門合同団キャンプを、「川崎市八ヶ岳少年自然の家」において下記日程で実施しました。

2017年8月21日～24日 Jr.=ジュニア  
Sr.=シニア  
Re.=レンジャー  
2017年8月22日～24日 Br.=ブラウニー  
2017年8月23日 Te.=テンダー



### 「夏キャンプの思い出」ブラウニー 齊藤みりあ

私がキャンプで楽しかった事は沢山あります。

1つ目は、オリエンテーリングです。理由はキャンプ場をぐるぐるまわって色々なお題を解いていくのが楽しかったです。

2つ目は、キャンプファイヤーです。理由はオリエンテーリングを回ったグループで、替え歌や劇や踊りをしたからです。火が消えかけた時に焼マシュマロをしました。

3つ目は、星空観測です。

理由は、為になる事をたくさん教えてもらったからです。面白かった星は・・・「ハゲ・ケチ」です。奇跡的に土星も見れました。

来年もとても楽しみです。

### ブラウニー 小3 田中美羽

私の夏のキャンプでの思い出は、キャンプファイヤーの後のマシュマロをやいたことです。マシュマロをやいたらモチモチしておいしかったです。マシュマロをやいて食べるのは、初めてだったのでおいしくてビックリしました。クッキーではさんだのもおいしかったです。そこでマシュマロは、やいた方がおいしいとわかりました。また、来年のキャンプで、マシュマロをやいて食べれたらうれしいなと思っています。



### ブラウニーキャンプ

### 黒川 詩葉

今回のキャンプは、ちょっとたいへんでした。なぜかと言うと、わたしがパトロールリーダーだったからです。富士さんぼに行く時とかに、みんなをまとめるのがけっこうたいへんでした。でも、みんなでキャンプに行けて、すごく楽しかったです。

キャンプファイヤーや富士さんぼがすごく楽しかったです。キャンプファイヤーは、パトロールごとにスタンプを考えて、みんなにはっぴょうするのがちょっとドキドキしたけど、みんなはくしゅをしてくれたからうれしかったです。みんなのスタンプもかえ歌や、リーダーの変なおどりもおもしろかったです。

富士さんぼに行った時に富士さんぼのガイドさんがいろいろな植物を教えてくださいました。さわってはいけない植物やさわっていい植物もあるので、気をつけたほうがいいと思いました。前に、さわってはいけない植物をさわってしまって、やけどのようなあとが出来てしまった子がいたそうです。いろいろな植物があるからびっくりしました。もっと富士山にある植物を知りたいです。

森をぬけたところに、さばくみたいなところがあり、動物のガイコツがあつて、びっくりしました。黒よう石をみんなでさがしたりもしました。私は見つけられなかったけど友達くれたし、たからさがしてみたいです。すごく楽しかったです。ちょっとくやしかったけど、うれしかった。こんどこそ黒よう石を見つけるぞ！と思いました。

タップスの後、みんなでこわいお話をしていました。リーダーに気づかれないように気をつけて話していました。ともだちともとなかよくなれてうれしかったです。

またキャンプに行きたいです。

(前号で掲載漏れのため、お詫びと共に掲載します。)



**2017年「夏キャンプ川柳」**  
**～ジュニアとシニア 部門～ Jr10人、Sr2人参加**

今年は70周年を記念して「川崎市八ヶ岳少年自然の家」で全部門合同夏キャンプをしました。8月21日から24日までジュニアとシニアは野営活動をメインに3泊4日、晴天に恵まれ、自然の中で楽しく、仲良く、協力しあって過ごしました。

毎晩、その日の出来事から川柳を詠み、日記のようにしました。

**一日目 (8月21日)**

森の中 自然いっぱい 虫いっぱい

目黒由奈

草むらの 虫がすずしさ はこんでる

小崎美和子

協力し 笑顔で作る テントかな

山海 真凜

やつがたけ むずかしかった テントはり

東 嬉乃

10人用のテントを張って、タープの下でお弁当。野外炉でカレーを作りました。初めての野営の4年生も先輩を観て、まねて、一生懸命頑張っていました。

**二日目 (8月22日)**

インディアンおまもり作り ねがいこめ

石野由真

暑い夏 流しそうめん 涼やかに

堀内 沙那

昼ごはん ながしそうめん たべました

向殿まり

クラフトと 星の観測 楽しいな

井上 桃

4団の流しそうめんには、うずらの卵、キュウリ、ミニトマト、茹でた豚しゃぶ肉も流れます。主婦のリーダーがいると昨晚の残ったカレールウを使って、ヤカンでカレー味のつけ汁も食卓にのぼります。楽しみながら、しっかり食べつつも、忘れずにそうめんを流す係もしてくれるスカウト達、「将来リーダーになるからね」とポロッと出てくる話にリーダー達は癒やされ、支えられます。夜の星の観測では、先生のお話が本当に楽しくて面白くて、引き込まれて、そして勉強にもなりました。自然を超えて、宇宙に想いを寄せるひと時はコトバにできない不思議な感覚になります。観測施設の屋根が開き空を見上げると・・・残念、今夜は曇り空。パラパラ雨も降っています。夏季伝道師の佐藤先生とのスカウトズタウン (Scouts Own) で心を静め、生かされていることを感謝し眠りにつきました。



**三日目 (8月23日)**

ワクワクの 行きたかったな 骨折れめ

鈴木 瞳

ひるごはん バーベキューだ おいしいな

向殿ゆり

雲がどき 星空見える 空高く

堀内沙那

夜の星 眼鏡がないと 夜の空

田中優楽

全部門縦割り班で一日中活動しました。キャンプ場をめぐるワクワクハイキング、バーベキュー、テンドーとブラウニーの2人の入団式、スタンプ練習、バーベキュー、キャンプファイヤー、念願だった「土星の輪の観測」と盛りだくさん。4団の新たな定番になりそうな曲も増えました。足を骨折しててもつつい動きたくなるほど楽しいキャンプでしたが、「骨折だからとリーダーに止められてうっふんたまるシニア」と「いつも物静かで絵を描くのとキャンプが好きなシニア」のコンビがお姉さんとなり、下の部門のスカウトに上手に声かけをしてくれます。すると6年生が、5年生がと、次々と自発的に動きはじめます。頼もしいお姉さんに助けられ、ブラウニーさんも元気に過ごしました。





#### 四日目 (8月24日)

朝起きて もう帰る日か ざんねんだ

石野由眞

最終日 帰りたくない この気持ち

伊藤三輪子

またいつか 絶対にくる まってるよ

鈴木 瞳

最終日。まだまだ帰りたくない気持ちと家が恋しくなりはじめる気持ちで、複雑な気持ちで動きが遅くなります。3泊の感謝を込めて宿を綺麗にするのにドタバタです。

何度キャンプを経験していても、わかっていても必ず起こることがあります。不思議なもので、ずっと仲良く

過ごしてきても、どんなにキャンプに慣れていても、キャンプの3日目、4日目になると皆んな疲れも出てきて、わがままも出てきます。ケンカがあったり、意地悪したくなったり、なんで私だけ頑張っていて他の人は動かないのと不満も出てくるものです。それらの気持ちを分かち合って乗り越えられることを覚えると、ただただ楽しかったキャンプから、「大変だったけどみんなと一緒に良かったよね」と心の成長が育まれるようになります。今年も自然豊かなキャンプ場で、無事に過ごせたことを感謝し閉会式を終え、「またみんなで来ようね」とキャンプ場を後にしました。

OGO B のみなさんの若かりし頃のキャンプの思い出もぜひ川柳で詠んで聞かせてください。



イギリス ジャンボリー感想

ジュニア・シニア・レンジャースカウト一同

イギリスのロンドンから東南に約 60km ほどの ケント州 Showground で開催された「Kent International Jamboree 2017」に当団初めての試みとして有志スカウト 12名が7月28日～8月7日の日程で参加しました。世界各国から約 6千人が集い天候にも恵まれ、参加者全員、貴重な体験をしました。

#### Jr. 石川愛

I liked KIJ because it was like the camping I've never imagined of. It was nice meeting new people by talking to them.

#### Jr. 黒川詩葉

I loved every single moment in KIJ, so the week seemed like a day. It was my first time camping in a tent. The strong wind blew the tent and so it shook a lot.

#### Jr 宮崎音寧

KIJ の開会式や閉会式は夜 11 時くらいまであつてとてももりあがって楽しかったです。また 4 年後行きたいです！！

#### Jr. 黒川詩織

Things that made the camp great were the friends we got to make, but also the range of activities we got to enjoy. Some of the activities I enjoyed most was the laser shooting game, where two teams shot each other with lasers.

#### Sr. 岩田礼

いろいろな国の友達が出来た！もっと英語を勉強してみんなともっと会話がしたい！

#### Sr. 宮崎南奈

最初はだいじょうぶか心配だったけれど、中に入って一日過ごしてみると一日が楽しくて、いろんな乗り物やショップや食べ物などがいっぱいそろってあった。





**Lr. 岩垂量子**

海外という慣れない環境の中での一週間の共同生活は、誰にとってもストレスを感じる事がありました。そうして人と人がぶつかり合い、国籍を超えて成長を成し遂げる様子を近くで見守ることが出来たのも非常に貴重な経験でした。

**Lr. 川まど雅**

団で初めての海外キャンプということで、準備などはじめわからないことが多く、準備は大変であった。事前の準備の中で、日本について、日本のガールスカウトについてなど、スカウトと、もっと共有することが沢山あったと感じた。

**Sr. 鈴木瞳**

ジャンボリー3日目はサーカスとウォーターアクティビティをやりました。サーカスは司会の方が面白く、バランス芸ではみんなが応援していて、会場に一体感を感じました。

**Sr. 田中優楽**

やはり英語だと何をいっているのかわからなかった。でも蚊がいなかったから日本でやるよりよかったけど寒かった。

**Sr. 張祐瑜**

他の国のスカウトからも「こんにちはー」ってあいさつしてくれたり、ハイタッチしてくれました。昼ご飯や夕食を食べるときにテーブルを使わずに、コミュニケーションをとるために円形にして食べたことが印象に残っています。

**Lr. 浦江香菜子**

スワッピングという、ジャンボリーで出会ったスカウトとのバッジ交換に私もスカウトも夢中になりました。私たちはバッジをあまり持っていかなかったのですぐに交換できるバッジがなくなってしまい、折り紙を折ってプレゼントしたり、外国の方の名前の漢字を考えて腕やTシャツに書いてあげたりと、私たちにできることを考えてスワッピングを楽しみました。





## ボーイスカウト 夏キャンプ

今年は創立 70 周年を迎えたことの記念合同団キャンプをボーイスカウト那須野営場で実施致しました。  
2017 年 8 月 1 日～6 日 BS 隊・VS 隊 夏キャンプ  
2017 年 8 月 3 日～6 日 BVS 隊・CS 隊 夏キャンプ

### BVS 隊 グレグレイストリン

僕が夏キャンプで一番たのしかったことは缶に穴をあけてランプを作ったことです。色々な形の穴をあけて、中にろうそくを入れたら穴からきれいな光が出てきてきれいだと思います。缶にたくさんの穴をあけるのが大変でしたが、かっこいいランプが出来たのでうれしかったです。

カブスカウトのお兄さんたちがカレーを作ってくれてうれしかったです。ジャガイモがとても大きかったのでおどろきました。色々なかくし味が入っていてもおいしかったです。

キャンプファイヤーはとてもきれいで、僕たちはももたろうのげきをしました。たくさんの人の前でげきをしたのできんちょうしました。

3泊4日のキャンプにさん加したのは初めてだったのできんちょうしましたが、隊長たちやカブスカウトやボーイ隊やベンチャースカウトのお兄さんたちがお世話してくれたので楽しく過ごせました。次のキャンプが楽しみです。



### カブ隊 杉本幸之介

ぼくが夏キャンプで一番楽しかった事はデン（簡単な小屋のようなもの）作りです。竹とビニールシートとひもで作りました。デン作りでおぼえた事は、ぼうとぼうを結びつける方法です。デンコーチとはま田副長に教えてもらいました。初めて自分で結べた時は嬉しかったです。なぜかというと思っていた事を自分で出来るようになったからです。

組長が作ったポストをデンに付けてみたら手紙がなんと！4日で3通も届きました。その差出人はかいとう X。みんな隊長かと思っていきましたが、帰る直前にそれは場長だと分かりました。え〜!とびっくりしました。

きも試しは案外こわくありませんでした。でも会場まで行く道がすごくこわかったです。泣いてしまう人もいたほど本当にこわかったです。その道は暗くて時々もうじゅうも出てくるそうです。

集音器も作りました。

反省は1日目にけんかがあった事です。みんなで部屋を使う時には、自分勝手な事を言ったりしたりしないようにすればいいと思います。

また来年も行きたいです。





## 「70周年、合同キャンプの思い出」

BS隊 濱田千太郎

ボーイ隊に入ってから今年は、3回目の夏のキャンプになる。ボーイ隊の自覚は、持っているものの、進歩がないなど、あきれれる。分かっているようで、行動にうつせていないのが、事実で、今年もハラハラドキドキの連続だ。仲間の良い所ばかりが、目立って、俺なんか、どうせだ。それでも、キャンプファイヤーは、僕なりに精一杯頑張ったところだ。隊長、副長が、キャンプを盛り上げている姿や、僕たちスカウトに一生懸命指導してくれていることに感謝しているから、恩返ししたいと思ったからだ。班長の矢野も、すごい力で、リードしてくれている。みんな、すごいよ。恥ずかしい気持ちは、どうしてるんだろう。僕は、恥ずかしくて、声が出ない。無事に終わって良かった。やっぱり、キャンプは、楽しい。

来年こそ、恥ずかしい気持ちを捨てて、やってやろう!!

ボーイスカウトは、僕にとって学校とは別の大事な生活のひとつだから、上を目指して頑張ろうと思う。





いつもスカウトクラブの会報をお送り頂き有難うございます。今年は霊南坂スカウトの創立70周年とのこと、誠におめでとう存じます。相変わらずパリ暮らしのため、記念式典に出席出来ず残念でした。外国で生活するのはそれなりに大変ですが、スカウト時代に養った精神力のおかげで、半世紀近くを過ごして来ました。また、ヨーロッパに居ると、世界の紛争が身近に感じられ、アフガニスタンのスカウト活動に対する皆様の支援は、本当に素晴らしいと思いました。遠くからスカウトについて想いを馳せる日々ですが、10月13日(金)には奇しくも霊南坂教会でのコンサートで拙作《エクアーレ〜黙禱〜》が演奏されるという、嬉しい出来事もありました。

#### ☆「映画の舞台、モンマルトルの街角」展

モンマルトルの丘と言えば、どんぐり頭の白亜の聖堂サクレ・クールが眼に浮かびますが、そのすぐ裏手に心魅かれるモンマルトル美術館があります。ここはかつてルノワールやデュフィのアトリエがあったところで、画家のシュザンヌ・ヴァラドンとモーリス・ユトリロ母子も住んでいました。この界隈は、「ムーラン・ルーージュ」や芸術キャバレー「黒猫」・「ラパン・アジュール」、そしてピカソやモジリアーニが住んでいたアパート「洗濯船」などにより、文化と享楽が混じり合った地区として、昔から知られています。

いま美術館で開かれているのが、「映画の舞台、モンマルトルの街角」と題する特別展。モンマルトルは、観光名所だけでなく、手摺りの付いた長い階段や、街灯、路地などフォトジェニックな風景が多いのです。シナリオやポスターも展示されていますが、様々な映画の抜粋が見られるのが嬉しい。

たとえば、イヴ・モンタンが《枯葉》を創唱したことで知られる《夜の門》(M・カルネ監督、1946)に出て来る近くの地下鉄の駅は、実はスタジオ内にそっくり再現したものなのです。米国人のパリに対する昔からの憧れも、ミュージカル映画《巴里のアメリカ人》(V・ミネリ監督、1951)で確認出来ます。ムーラン・ルーージュを舞台にした《フレンチ・カンカン》(画家の父親、ジャン・ルノワール監督、1955)も欠かせません。《大人は判ってくれない》(1958)以来、モンマルトルを撮り続けたF・トリュフォー監督は、「クリシー広場は世界で一番美しい広場だ」と言ったそうです。近年では、日本でもヒットした《アメリカ》(J-P・ジュネ監督、2010)のストーリーボードや、撮影に使われた小道具も展示されています。

モンマルトルを舞台にした映画は、こんなに沢山あったのか、と感心しながら出口に向かう途中で見せられたのが、W・アレン監督の《ミッドナイト・イン・パリ》(2010)。ありや、モンマルトル美術館の入口が、しっかり画面に収まっているじゃありませんか。自分の不明を思い知らされたひと時でした。

2018年1月14日まで。入場料：11€  
(日本語のオーディオ・ガイド付)



霊南坂教会での《エクアーレ〜黙禱〜》の練習風景

#### ☆委嘱作《進め！美わしき魂よ》完成

高校時代の同級生で、日本管理工学研究所社長である友人から、社歌を作曲してくれ、と依頼されました。社歌・校歌の類は、半世紀以上前、母校在学中に文化祭(「収穫祭」)の歌を作って以来です。因みにこの《収穫祭の歌》は今でも生徒手帳に掲載されており、生徒たちに歌い継がれています。

[http://www.shiki.keio.ac.jp/profile/shiki\\_mamehyakka/008.html](http://www.shiki.keio.ac.jp/profile/shiki_mamehyakka/008.html)

その後僕は現代音楽の作曲家となり、交響曲やオペラを書くようになったのですが、「大きなコンサート・ホールで喝采を浴びるのは名誉なことには違いないが、人々が口ずさむシンプルな曲が残せたら、それも同じくらい素晴らしいことではなからうか？」と、時折ふと思うのでした。すると今回の委嘱は絶好の機会と言うことになりましたが、話はそう簡単ではありません。「音楽の新しい地平を追及して来たお前に、もはやそういう音楽は書けないのではないか」と自問せざるを得なかったのです。

そこで僕はしっかりと兜の緒を締めて、本作に取り組みました。結果は「落ち込んだ時、困った時に口ずさむと勇気がおのずと湧いて来るような曲」、という委嘱者の希望に添う曲が出来たようです。歌詞の提示はなかったのですが、タイトルを《進め！美わしき魂よ》と決めました。これはゲーテの長編小説『ヴィルヘルム・



マイスターの修業時代』から取ったものです。この物語の第6章は、全体から切り離されて独立した章「美わしき魂の告白」となっており、そこでは一人の女性が悩みながらも自分の生き方を見出す過程が描かれ、最後に「わたしは絶えず前進しています。けっしてあともどりすることはありません」(岩波文庫、山崎章甫・訳)と記されています。僕もこういう風に生きられたら、と思ってこの曲名を付けました。

マーチ風の曲調で、ピアノ用の楽譜に仕上げられていますが、コード・ネームも付いています。ピアノで弾くもよし、ギターを奏でるもよし、口笛で吹くもよし。是非多くの皆さんに楽しんで頂きたいと思いますので、ご希望の方には楽譜をPDFでお送りさせていただきます。遠慮なくお申し出下さい。

#### ☆武藤記念講座「現代音楽は恐くない」

聴いてもよく分からない、と言われる現代音楽。なぜ現代音楽はなじめないのか。現代音楽とはなにか。ドビュッシー、シェーンベルク、メシアン、ストラヴィンスキー、ショスタコーヴィッチ……。自身作曲家である講師が、代表的な現代作品の種明かしをいたします。これでもう、現代音楽が面白くなること、請け合いです。

大阪：武藤記念ホール

11月18日(土) 午後1時半

問合せ：06-6941-2433

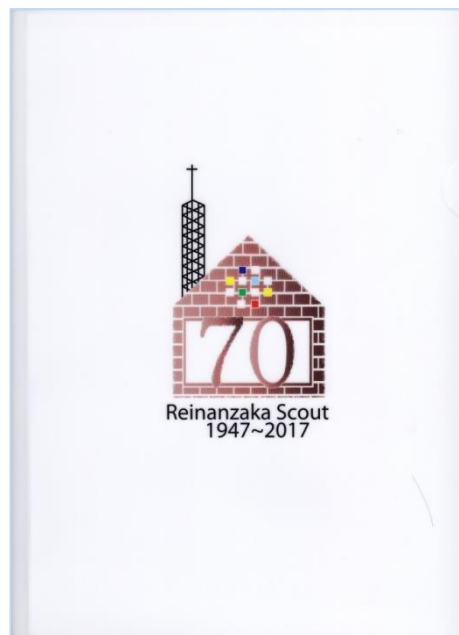
◆11月9日(木)より1月7日(日)まで、一時帰国しております。何卒よろしくお願い申し上げます

### スカウトクラブ制作の70周年記念クリアファイル(A4版)を販売しています

①



②



70周年記念クリアファイル(A4版)販売価格は、

価格 ①と②2枚1セットで 300円

送料=10セットまで200円

11セット~20セットは350円です。

ご希望の方はeメール [usui4669@hotmail.co.jp](mailto:usui4669@hotmail.co.jp)

電話：090-4749-0733 臼井純一兄にお問い合わせください。



# 霊南坂スカウトクラブ 告知板

只今70年のあゆみの集大成と言える「霊南坂スカウト70年のあゆみ」と題する年表を編纂しております。追ってご案内と申し込みを伺わせていただきます。

+++++

賛助金等をお振込くださった方で当日、残念ながら出席されなかった方にお届けすべき、70周年記念品の発送が大変遅れています。上記年表の出来上がり次第、ご要望によりお届けさせていただきます。お問い合わせは

eメール [taakos@nifty.com](mailto:taakos@nifty.com)

西郷崇子宛にお願いいたします。



## スカウトクラブのホームページ

霊南坂スカウトの最新情報や昔懐かしい写真など、いろいろな情報が詰まったホームページを運営しています。

<http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>

伝言板コーナーに、ふるって投稿をお願いいたします。

皆様からの情報提供をお待ちしています。

住所変更、メールアドレスの変更などありましたら、霊南坂教会内スカウトクラブ宛またはeメールで下記にお知らせください。[taakos@nifty.com](mailto:taakos@nifty.com)

この会報への広告出稿をお願いいたします。

サイズ：11.3×8.2cm

掲載料：1回3,000円×年2回予定  
デザインなどはスカウトクラブでもお手伝いいたします。

## 月例オープン集会

ぜひご参加ください。現役時代に  
戻り・話して食べて・楽しい集会に  
したいと計画しております。

原則毎月（8月は休）第2水曜日

（祭日の時は第3水曜）19時～

神谷町の「エリー」で開催しています。

## 会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。毎年の納入をお願いいたします。

振込先「ゆうちょ銀行」

**00170-4-765234**

\*\*\*\*\*

他行からの振込の場合は

ゆうちょ銀行：店名（店番）019（ゼロイチキュー）店 当座 0765234

口座名：霊南坂スカウトクラブ

あてをお願いいたします。

~~~~~  
霊南坂スカウトクラブ会費等

入会金：1,000円

年会費：3,000円

：2,000円（同居家族2人めから）

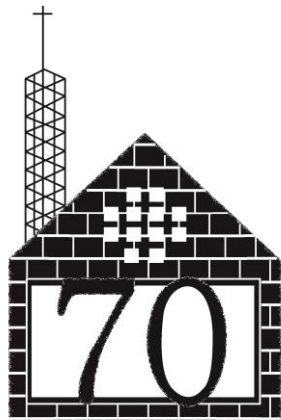
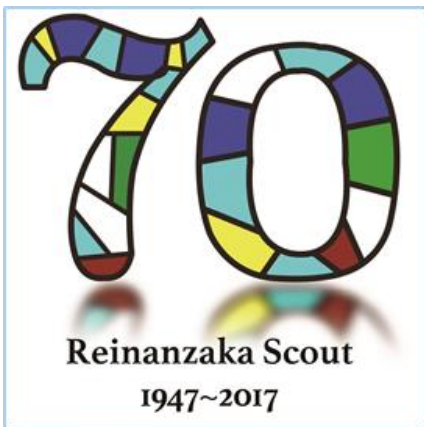
賛助金：歓迎いたします

~~~~~  
スカウトクラブへのメールは

御意見、ご希望、ホームページ、会報などへの情報は下記にお寄せください。[usui4669@hotmail.co.jp](mailto:usui4669@hotmail.co.jp)

## 霊南坂スカウトクラブ役員

会長	西郷崇子
副会長	田中新二 クラブ会報編集長
会計	臼井純一
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP	臼井純一
教会・団	古谷久代 ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳 健一



## 編集後記

霊南坂スカウト誕生「70周年」にふさわしく1930年代生まれから2000年代生まれまで幅広い年齢層が集い、盛大に祝会を開催することが出来ました。

この様子を映像で記録するよう出来るだけ写真を多用して70周年特集号としました。

いつまでも年代を超えて兄弟姉妹が手をつなぎ、一つの輪となって共に歌い、霊南坂スカウトの特質を継承して、ますます発展することを願っています。  
田中新二